

# さくら会・会報

2015 VOL.5

第5号

## ご挨拶

植草学園さくら会 会長 小林 鶴枝



会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、植草学園さくら会の活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

私は、植草学園大学、植草学園短期大学の前身である植草幼稚教育専門学校の卒業生です。そして、現在は、大学事務局の教務課実習支援室で勤務をさせていただいております。

植草学園には、110年を誇る伝統がありますが、実習支援室で勤務をしておりますと、その有難さを感じることがよくあります。学生の実習を受け入れていただくお願いをすると、その現場に植草学園の卒業生が勤務していて、温かく受け入れていただけることが多いからです。和裁学校から、高等専修学校、専門学校、短大、大学と発展してきた植草学園は、卒業生の進路も、幼稚園・保育園はのみならず、高齢者施設や社会福祉施設、病院、小学校や特別支援学校、そして一般企業など、優れた専門性を持った人材として、多岐にわたるようになりました。社



会のいろいろな場面で、植草学園の卒業生が活躍するようになったことを思うと、非常に感慨深いものがあります。大好きな植草学園がこれからも発展し続けてほしいというのが、私の一番の願いです。

さて、卒業生の皆様は、2018年問題をご存知でしょうか。18歳人口の激減で予備校の次に大学が消える時代が来るという問題です。地域に根差し、発展を続けている植草学園にも降りかかる問題です。私たち卒業生は、母校植草学園の最大の応援者でなくてはなりません。

ご関係の方がいらっしゃいましたら、植草学園大学、短期大学、附属高等学校の学校説明会、オープンキャンパス、学祭等に足をお運びいただき、母校の良さを語り継ぎ、ぜひ広くご周知いただけましたら幸いです。

また、今回の会報より、「学園の現在」をお知らせするページと「植草学園さくら会の活動報告」を掲載するページを設けました。学園内に創設した地域子育て支援教育センターや特別支援教育研究センターは、広く卒業生にもご活用いただき、植草学園を応援していただきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

## 小出進先生の顕彰碑 建立

学校法人

植草学園 理事長 植草 和典

植草学園大学及び植草学園短期大学の学長を務められた小出進先生が、昨年(平成26年)亡くなられました。先生には、平成10年に千葉大学を定年退官した後、植草学園の短期大学設置委員会委員として、その設置を当初より指導くださいました。

植草学園短期大学は、地域社会における児童障害福祉、高齢者・障害者福祉の担い手となる有為な人材を養成することを設置目的としました。

「福祉従事者は、専門的な知識・技能と優れた実践力を有すると共に、福祉サービスを受ける人の心と生活を支える支援者にふさわしい、心豊かな人間性と高い人間観・倫理観を備えていることが求められる。」短大設置の趣旨に書かれている先生の考えは、植草学園の建学の精神(德育=こころの教育)とも見事に融合し、短期大学教育を支える理念となっています。

その後、設置した大学の目的は、福祉にとどまらずに教育

や保健医療の分野においても、専門的に活躍できる人材養成となりその範囲は広がりました。大学の教育理念も短期大学と同様であり、人間教育を第一としたものであります。

小出先生が終生まで求めていたことは、障害がある人もない人も豊かに生きる社会、共生社会の実現です。今後、植草学園が共生社会を支える人材の教育に邁進していくことが、先生の遺志を引き継ぐことと考えています。

そんな思いと小出先生への感謝の意を込め、L棟クスクス脇の芝生のなかに、顕彰碑を建立しました。顕彰碑には「障害や困難性のある人もない人も、共に生きる植草学園」と小出先生の言葉が刻んであります。

卒業生の皆さん、学園に来たときには是非立ち寄ってみてください。



## 植草学園さくら会 第5回合同企画「大抽選会」報告

植草学園さくら会企画 第5回「大抽選会」も、多くの皆様にご協力をいただき、盛会に終えることができました。

**開催日** 平成26年11月15日(土) 14:00~

**場所** 第15回 植草学園大学・植草学園短期大学 緑栄祭メインステージ

### 内 容

11:00~抽選券の販売

14:00~植草学園さくら会会長挨拶

寄付金贈呈

植草学園大学附属高等学校バトントワリング部演技  
大抽選会

賞品贈呈	1等 ディズニーリゾートペアチケット	2組	6等 スタバカード(1,000円分)	5組
	2等 クオカード(5,000円分)	3組	7等 クリスマスブーツ(お菓子詰め合わせ)	5組
	3等 クオカード(2,000円分)	2組	8等 図書カード(500円分)	7組
	4等 コシヒカリ(3kg)(卒業生松本様寄付)	20組	9等 スイーツ風タオル+植草グッズ	6組
	5等 商品券(1,000円分)	5組	10等 お菓子+おまけつき	5組

当日は、800枚の抽選券を1枚100円で販売、会長寄付により精米販売の売り上げを含め、85,600円の売り上げを、植草学園教育研究振興基金に寄付させていただきました。

多くの皆様のご協力に感謝し、ご報告とさせていただきます。



**平成27年4月より、小倉キャンパス、弁天キャンパスに  
植草学園大学・短期大学附属地域子育て支援教育センターを開設し、  
子育て支援をより充実させます。**

平成26年度までの取り組みを紹介します。詳細はHP等でご確認ください。

### 事業内容

**1 子育て支援**



**2 個別相談(有料)**



**3 巡回相談(有料)**



#### [お問い合わせ]

〒264-0007

千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3

Tel.043-239-2651

「①みんなであそぼう」は、本学のキャンパス内にある当センターに親子で来ていただき、保育士や学生ボランティアとともに自由に遊んでいただくものです。昨年度までは週2回の開催でしたが、今年度から平日に毎日開かれるようになり、地域の親子がたくさん遊びに来ています。

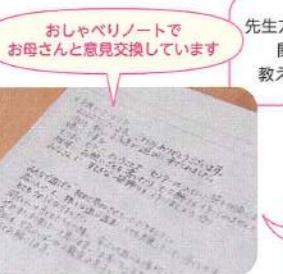
「②子育て支援講座」は、本学の教員の指導のもとで、学生が音楽の演奏やお芝居、遊びの支援などを行なうものです。

卒業生の皆様も、お気軽にご利用ください。

演奏やお芝居で楽しい時間を過ごします  
「子育て支援講座」



広々とした開放的な  
スペースと  
木の玩具を中心とした  
あたたかい雰囲気で  
くり返し利用させて  
いただいている。



おしゃべりノートで  
お母さんと意見交換しています  
先生方に子どもの  
関わり方を  
教えてもらった。

親世代だけではなく  
若い学生さんと  
接することができ、  
子どもたちも  
違った意味で  
楽しんでいると思う。

植草学園地域子育て支援教育センター

検索

## 「特別支援教育研究センター」を新たに創設しました。

### 「どの子にも必要な支援を」をめざす

おりしも植草学園創設110周年にあたる本年度、植草学園大学・植草学園短期大学の両学が関わる「特別支援教育研究センター」が創設され、開所記念の講演会とシンポジウム、祝賀会が盛大に開催されました。

植草学園大学、そして植草学園短期大学の学則には、どちらにも「障害」に関する人材育成についての記載があります。これは他学ではない特色です。この両学共通の特徴を具体化する取り組みの一つが、本センターの創設と言えるでしょう。このようなセンター自体、全国の大学の中で非常に希少な存在です。

本センターは、「やさしさの心の教育」と「共生社会」の実現に向け、特別支援と障害支援に貢献するヒューマンな研究と実践を推進します。障害のある子もない子も、どの子にも必要な支援のための研究をめざします。

本センターは、研究・啓発・研修・発信・支援の5つの活動をみなまとともに推進します。

本センターの諸事業に、ご協力とご支援のほどお願いいたします。



初代  
特別支援教育研究センター長  
太田 俊己



特別支援教育研究センター  
関係書籍 第1弾  
小出進先生の最後のご著書  
「知的障害教育の本質」は、  
特別支援教育研究センターでお求めになります。  
税込2400円(送料別)

### 特別支援教育研究センターのミッション・ビジョン

- 学校法人植草学園の建学の精神である德育<やさしさの心の教育>と<共生社会>の実現に向け、特別支援と障害支援に貢献するヒューマンな研究と実践を推進します。
- 植草学園大学・植草学園短期大学のスタッフと学生たちが必要と考える、社会に貢献する特別支援・障害関連事業を、関係者の皆まとともに展開していきます。
- わが国、そして県内・地域のため、特別支援と障害支援等に関する研究・実践・連携支援を着実に具体化します。

ご 利 用  
ください

【お問い合わせ】

TEL.043-239-2700 Eメール tokushiken@uekusa.ac.jp

障害支援関連の公開講座、発達障害支援の講演会など

植草学園特別支援教育センター

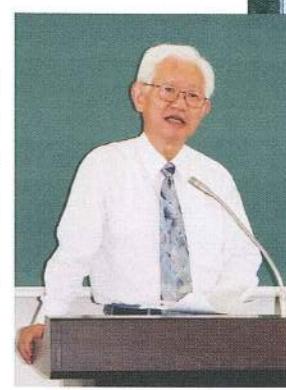
検索

## 故 小出 進 先生 たくさんの思い出をありがとうございました

植草学園大学名誉教授、前植草学園大学長 小出 進先生が、平成26年9月10日にご逝去されました。

小出先生は、平成11年4月に開学した植草学園短期大学で教授、副学長、学長、そして平成20年4月に開学した植草学園大学の学長を歴任されました。平成25年3月に大学第1回生の卒業と同時に大学同窓会が発足し、連合同窓会さくら会の顧問としてもお力添えいただきました。

小出先生のお人柄を偲び、ご厚情に感謝するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



# 植草学園大学

## 卒業生のみなさん！お元気ですか。



植草学園大学 学長 浦野俊則

「お元気ですか」あいさつ言葉としては、きわめて平凡です。平凡ですが、その通りでいらっしゃる、めでたいことだと思います。

日々、さまざまなことが起こり、なかなかゆったりした気持ちで過ごしがたいのが現実です。現実ばかりに浸っていると、気持ちが狭くなってしまいかねます。

たまには学生時代を思い出し、気の合った同窓生と話をしてみると、気分が変わることと思います。思い切って、母校を訪問してみると、もっとよいと思います。同窓会の行事等には積極的に参加してほしいと思います。

先生方も事務の方々も、卒業生が訪問してくれると、大変うれしいものです。

ところで、私は平成26年4月から大学の学長になりました。専門は書道(書写教育)と古代漢字学です。どうぞ、よろしくお願いします。

## 会長挨拶

植草学園大学同窓会 会長 西川 嘉人



皆様こんにちは、植草学園大学同窓会会長の西川嘉人です。

まずははじめに、昨年9月に御逝去なされた小出進先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。小出先生には在学中にも大変お世話になりました。特に学友会で行う行事の前には必ず私にも声をかけて励ましてくださいました。これからも私たちのことを見守っていてください。

私事で恐縮ですが、在学中にお世話になりました発達教育学部に所属されていた小林敢治郎先生が25年度でご退職されまして、今年は同窓会の仕事で大学へ行ってもどこか寂しい気持ちになりました。それと同時に時間というものは日々進んでいて、私も大学も新しい段階へと進んでいることを気づかされます。そんな中、緑栄祭では多くの卒業生の姿を見かけることができ、どれだけ時間がたっても帰ることのできる場所があることは非常に安心を与えるものだと実感しました。同窓生の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

ところでみなさんは会報を植草学園のHPから見ることができるのをご存じですか。同窓生の皆様には毎年発送させていただいていますが、PCやスマートフォンからもご覧になれますので一度アクセスしてみてくださいね！

## 小出進先生 ありがとうございました

植草学園大学前学長 小出進先生が平成26年9月10日に御逝去されました。

講義を始め、学校生活や行事等では励ましの声をかけてくださいり、入学から卒業まで私たちのことを導いてくださいました。卒業前の先生との懇談会では、学長室から見える大好きな楠の話をされました。今、その楠の隣には先生の顕彰碑が建っています。

先生との思い出や先生からいただいた教えをいつまでも忘れることなく、大切にしていきたいと思います。

小出先生、ありがとうございました。



## 緑栄祭～卒業生の集い～

昨年度に続き、今年も緑栄祭2日目に「卒業生の集い」を行いました。今年は昨年度の反省から開催時間やbingoゲームの商品に気を配り、短い時間であっても昨年以上に皆様に楽しい時間をすごしてもらうことを心がけました。3期生も加わり、昨年以上に盛り上がったように感じます。最後に先生方からの挨拶で「来年はぜひ友人を誘って参加し、同窓会をより盛り上げていってください」という励ましのお言葉をいただきました。参加してくださいました皆様、本当にありがとうございました。さらに一人でも多くの方が「卒業生の集い」に参加していただけることを願っています。

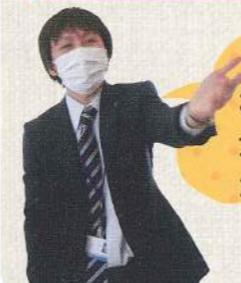


今回の景品も豪華!!

## 今年度の活動記録



### 第3回同窓会総会(5/17)



編集委員より

本年度も昨年度同様、役員以外のたくさんの方が同窓会の活動をお手伝いしてくださいました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

また、イベントなどアイディアも募集中です！皆様のためになる、そして楽しめるものを作つていただこうと考えています。

### Eボート大会(10/18)

学生の助っ人で参加しました！



### オープンキャンパス(6/22・8/2)

職場を語るコーナー、卒業生質問コーナーを担当させていただきました！これをきっかけに私たちの後輩が増えてくれるうれしいです！



植草学園さくら会会報編集委員 西川嘉人 小泉仁美

# 植草学園短期大学

## 同窓会会報に寄せて -「実家」の「探訪スポット」にお運びを

植草学園短期大学 学長 中坪 晃一

短大開設16年目。卒業生を送り出すこと14回。短大同窓会は、卒業生2,452名を擁する大所帯です。卒業生の皆さんには、在学生の実習指導をはじめ、たくさんのご協力をいただいていることに感謝しております。

学園の近況の一端です。昨年秋、「植草共生の森」で、蛍の生息地作りをしました。学生さんと教職員で、小川から池まで、購入した田んぼの畦土の貼り付け作業。厚さ15cmになるまで、「拳」で土をつぶし押し付けて。その後「木道」や橋まで設置。春先には、畦土から雑草も生え、畦土の中が絶好の蛍のすみかになるのだそうです。「蛍の飛び交う植草」の実現も間近で、疲れましたがちょっとわくわくの作業でした。「共生の森」は、「植草探訪スポット」の一つです。保育園・幼稚園・学校・施設等の遠足の場、遊びの場、憩いの場としても活用できます。

「植草探訪スポット」二つ目。大・短の学長をされた故小出進先生の石碑。昨年秋に完成、お披露目。植草先生の胸像もあります。ここで亡き先生を偲びつつ、学生時代に想いをはせても。春の桜・新緑の森、6月のあじさい、夏の蛍、秋の落葉の森など、折り折りに「探訪スポット」にもお運びください。癒やされます。和みます。



「さくら会会長小林さんと一緒に」

## 会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 金久保 利一

植草学園短期大学同窓会会員の皆様、いかがお過ごでしょうか。

平成26年9月に、前植草短期大学学長小出進先生が逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。昨年は植草昭前理事長がお亡くなりになり、皆様には2年続けて悲しいお知らせをすることとなりましたが、短大同窓会といたしましては、いつまでも悲しみに沈んでいるのではなく、お二人の意思を引き継ぎ、植草学園のために微力ながら側面から協力していくつもりです。

植草学園短大は皆様の母校です。同窓会では、同窓生の「生の声」を聴き、同窓生のためになるような活動を続けてゆきたいと思っていますので、ご協力のほど宜しくお願いします。また、先生方もお喜びになると思いますので、お気軽に立ち寄りください。



## 同窓生通信



第10期生  
小泉 麻悠さん  
(児童障害福祉専攻)

こんにちは。

今の施設に入社して、4年目になります。

去年まで3年間、障がい者施設の入所で介護職をしていましたが、今年の4月から異動し、児童発達障害放課後デイサービスでリーダーとして保育士をしています。

最初は誰でも不安や心配で、毎日押しつぶされそうになると思いますが、失敗したことをバネに、自分自身が成長出来ることを実感しています。ご利用者・ご家族様は、自分が思っている以上に、しっかり保育士としての自分の事を見ていてくれています。

先日、特別支援学校で文化祭が行われ、利用している子ども達がクラスで出し物をしたと聞きました。次の利用時に、その時の景品をニコニコしながら「まゆちんにあげる!!」と持って来てくれたときは嬉しさと同時に、自分の子どもの様に感激しました。

大変なことばかりですが、私は、いつもこの職業をしていて良かったと思っています。仕事をする上で、利用者との信頼関係は、一番大切だと改めて感じました。

## 短期大学の取り組み

### 台湾の高級中学との交流

平成25年12月3日、台湾の台南市光華高級中学の生徒11名と教員5名の方々が、来校いたしました。3月に続いて2度目の訪問です。今回の目的は、本学での受講体験でした。

福祉学科を理解して頂くために、日程には両専攻の受講体験とさらに福祉施設見学も盛り込みました。最高に盛り上がったのは歓迎会でした。地域介護福祉専攻の1、2年生が準備から進行、そして見送りまで、力を合わせて行ってくれました。歓声に包まれた会の歓迎の思いは、台湾の方々にも伝わったことでしょう。「もてなす」気持ちを最大限に表してくださいました。皆様に感謝!!

私自身忘れられない台湾の方々との交流でした。



### 「東北復興支援研修」について

本学では、平成19年度に起きた中越沖地震でボランティアを派遣したことをきっかけに、継続的に災害支援に取り組んできました。

今年は、本学の学生50名が、8月24日から26日にかけて、2泊3日で東日本大震災から約3年半経った仙台市、石巻市を訪問し、現地で多くの被災者の方々、仮設住宅の自治会長さん、市民センターの方々、行政の方々にお会いし、直接、復興の取り組みについてお話を伺ったり、海岸付近のゴミの清掃のボランティアを行ってきました。

お会いした自治会長さんの中には今なお仮設住宅にお住まい、また奥さん、お子さんなど大切な人を亡くされた方もいらっしゃいました。どの方も、当日の様子や教訓など熱意をもってお話しくださいました。大川小学校の参観では、お話の途中涙を流す学生さんも多く、おのの、未だ道半ばと言わざるを得ない復興への支援、又今後の防災・減災への取り組みを胸に誓いました。



## 同窓会の取り組み

### 同窓会総会

本年度の植草学園短期大学同窓会総会は、5月17日(土)に開催されました。今年度も少ない人数の中での開催となりましたが、参加していただいた卒業生の方々は、総会終了後にも先生方と懐かしい思い出話や、仕事の話等楽しい一時を過ごされている様子もうかがえました。卒業してしまうと、なかなか足が向いていくこともあるかと思いますが、お友達をお説明合いの上に、懐かしい先生方との思い出話や仕事の悩み等を相談しに、短大にお越しいただけたらと思っております。

### オープンキャンパス

8月23日(土)にオープンキャンパスが行われました。今年も卒業生による相談コーナーを設置して、入学を検討している学生からの質問や相談を受けました。授業や生活面に関する事など、卒業生の身近な経験談を聞いて、皆さん安心した様子でした。進路への迷いを、少しでも解消できる場となると良いです。



## 緑祭

平成26年  
11月15・16日

編集委員より

今年多くのお客様にお越しいただきました。さくら会合同企画の大抽選会では去年に引き続き抽選券がすべて完売するほどの賑わいでした。

売上金は植草学園に全額寄付いたしました。皆様ご協力ありがとうございました。「来年も楽しみにしているね」と多くの方から声をかけていただきうれしい限りです。

また来年も商品をご用意してお待ちしております。

近年、学園では「植草共生の森」が完成したり、短大では学園外の方との交流が行われたりと、様々な活動が盛んになってきているようです。同窓会では引き続き短大の様子を、皆様にお伝えできるように取り組んでいきたいと思います。同窓会でも様々な活動を行っていますので、是非足をお運びください。

植草学園さくら会会報編集委員 坂下紀子・池上清美・高橋成光



# 植草学園大学附属高等学校

## 前会長挨拶

植草学園大学附属高等学校同窓会  
前会長 信田一美

年に一度、同窓会を例年麗峰祭の日に開催しています。今年も10月4日に植草学園大学附属高等学校麗峰祭の日に開催致しました。

今年で33回目を迎え、同窓会開催におきましては、同窓会員の皆さまをはじめ、学園関係の方に多くのご協力をいただきありがとうございました。懐かしい顔が久々に集まり、私としてはお目にかかる同窓生の皆さまが元気であったことが非常に嬉しかったです。

同窓会総会は、植草完校長先生のご挨拶、事業報告、平成26年度事業計画、皆さまからの近況報告などがありました。また、いただいたご意見などは、今後の同窓会活動に役立てたいと考えております。同窓会の方針としては、今までと同様に「皆さまが楽しめる会」をめざし計画していきます。同じ学舎で一緒に喜び、苦労を共にした「懐かしい仲間」が集まる場にしたいと考えています。さらに、同窓会を卒業生の交流する場としていくためにも、来年は是非多くの皆さまにご参加いただき、懐かしい仲間と交流できれば嬉しい限りです。

高校同窓会のほか、大学で行われる緑栄祭では、連合同窓会さくら会のメンバーとして参加し、抽選会などのお手伝いを行いました。さくら会では幅広い同窓生の皆さんにご参加いただくことで、年々活動も定着してきています。このような活動を通じ、高等学校同窓会として植草学園そして母校のため、卒業生の立場から積極的に貢献し、さらには生徒一人ひとりが楽しく元気に、充実した高校生活を送れるよう、応援させていただきます。

私事ではありますが、本年9月(前期)をもちまして同窓会会長の職を降りることとなりました。これまでの同窓会とさくら会の活動に関しまして、多くの皆さまご協力を賜りました。大変ありがとうございました。同窓会員の皆さんには、同窓会の趣旨をご理解いただき、ご多忙中とは存じますが、これまで同様同窓会活動にご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

## 今年度も教育実習生を受け入れました



授業中の田野先生

後列 左側 千葉大学 久保 すみれさん  
右側 杉野服飾大学 福田 裕美さん  
前列 左側 茨城大学 富山 岬さん  
右側 順天堂大学 田野 寛子さん

## 新会長挨拶

植草学園大学附属高等学校同窓会  
新会長 木村 昌代

同窓会員の皆さんには、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成26年度同窓会総会において、幹事より推薦、総会で承認を頂き、平成26年10月(後期)より信田前会長の後を受けて会長を務めさせていただくことになりました、木村昌代と申します。高等学校は創立35周年を迎え、同窓生数も9,566名となりました。今後も会員の交流や親睦を深め、母校と同窓会発展のため、微力ではございますが頑張る所存でございます。

最後になりますが、長きにわたり会長としてご尽力頂きました信田前会長に感謝の意を表しますと共に、会員の皆さんより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 親子で同窓生



今年度入学1年生細矢時也くんのお母様(細矢淳子さん)は本校の卒業生です。ちなみに担任は鳩谷先生だったそうです。優しくてお母さん思い、学級のお仕事も進んで引き受けてくれるナイスガイです。ちなみに今年度は英語科に3名、特進コースに5名合計で8名の男子生徒が入学しました。

## 教育実習を終えて感想を伺ってみたところ…

- 1コマの授業にかける準備時間の長さを実感した。  
もっと真剣に受けければよかった。(久保さん)
- 自分が得意な教科を教えているのでもっと楽だと思っていた。  
実際はすごく大変。(田野さん)
- 「もっと高校時代の友達を大切にして」と後輩に伝えたい。  
一生の宝物になるから。(富山さん)
- 教科指導、クラス経営、部活動以外にも多くの仕事があり、驚いた。(福田さん)

生徒としての学校と、実習生としての学校とでは大きな違いがあり驚いたでしょうが、やっぱり温かい母校の先生方との実習は充実したものだったと思います。みなさんよく努力されていて精錬授業も立派にできました。先輩のそんな姿が現役生徒にとっても励みとなったようです。これからもご精進くださいね。

## 在校生、同窓生ともに頑張っています 植草学園大学附属高等学校 校長 植草 完

同窓生の皆さん、お元気でご家庭や職場でご活躍のことと思います。平成20年の植草学園大学開学を機に植草学園の各学校の同窓会をまとめてはと言う気運が高まり、22年4月に連合同窓会「さくら会」として発足し早5年となります。この会報も第5号となりました。高校の同窓会としても、同窓会誌を休刊してかなりの月日が経っておりましたので、この会報は同窓生の皆さんに学園の現在を御理解いただけます。

折に触れて、在校生の活躍の様子をお伝えしてきたのですが、最近の様子をお伝えします。

部活動では、ソフトテニス部は常に関東大会や全国大会に出場を続けており、平成25年3月には全国高等学校選抜大会で準優勝し、県下の強豪として多くの方々に認められてあります。

バレーボール部も関東大会に連続出場し、新興勢力として注目されています。

なぎなた部は昨年のインターハイでは、個人、演技、団体と3部門に出席し、活躍しています。

バトントワリング部も全国大会に出場し、団体で準優勝、個人で優勝と活躍しています。

吹奏楽部は、コンクールへの参加の他、地域の色々なイベント(そごうや幕張のイオンモールのクリスマス企画など)に参加し、好評を得ています。時にはバトントワリング部とジョイントした発表もしています。

また、学校外で活動している生徒も応援しようと、校外活動部を設け支援してまいりました。以前はスイミングクラブで練習し水泳でインターハイや国体に出場した選手もいましたが、最近は千葉アカリンクのスケートクラブで練習をしている生徒が、フィギュアスケートでインターハイ出場をしたり、イオン新体操クラブで練習をしている生徒が、インターハイで個人総合優勝、全日本選手権個人総合優勝をしました。この選手を指導しているコーチもまた以前本校で新体操で活躍した同窓生です。

同窓生と言えば、下の記事にもありますように、2015ミス・インターナショナル日本大会でグランプリに輝き、日本代表となった同窓生もいます。彼女は、在校時に高校野球のプラカードを務めましたが、2年3年の時に先導したチームが連続して甲子園出場を果たしたというエピソードもあります。

同窓生の中にはまだ活躍している方が多くいらっしゃること存じます。在校生は先輩の皆さんのご活躍を聞くのを楽しみにしていますし、自分の将来への励みとしています。ご存じの方は是非学校へご一報下さい。

\*まだまだお伝えしたいことは多いのですが、詳しくは高校のホームページをご覧下さい。また、[高校入試で同窓生推薦制度](#)があります。学園同窓生(高校だけでなく大学、短大はもちろん、幼少や服事も対象です)の身内の方を積極的に受け入れようと考えています。詳細についてはお問い合わせ下さい。



## 第33回 同窓会総会

今年も10月第1週土曜日、麗峰祭一般公開日に合わせて高校の同窓会が開催されました。



恒例の集合写真



前会長の信田一美さんと石澤紗央里さんが皆さまをお出迎え。

## 第33回 同窓会総会

ささやかながら同窓会でお茶とお菓子をご用意し、後輩たちのさまざま活躍の報告を受けたり、お互いの近況報告をしあったりして穏やかなひとときを過ごしました。大勢の方にご出席いただきとてもうれしかったです。ありがとうございました。しかし!お茶菓子はもっとたくさん用意してあります。みなさまお誘いあわせのうえぜひともご参加ください。同窓会総会終了後は会場を懇談会の場としてご利用いただけます。これを機会にブチ同窓会なんていかがですか?



## 母校訪問

卒業生でもあり高校事務にご勤務いただいていることもある佃 芙美子さん(旧姓 大谷 芙美子さん)長女の星凜(あかり)ちゃん。今お住まいは輪島のほうですが在校中また在職中に活躍されていたなぎなた部の活動を応援しにたびたび学校にお顔をだしてくださいます。「私立っていいよね、移動がないからいつ来ても会える。」卒業後訪問してくださる皆さんがよくそうおっしゃいます。母校に自分がお世話になった先生方が、たいていいつもいらっしゃるというのは嬉しいですよね。



佃 芙美子  
(旧姓 大谷さん)さんと  
あかりちゃん



昨年度本校卒業生の中川愛理沙さんが今年度ミスインターナショナル日本代表に選ばれました。「来年の11月に行われる世界大会までより自分に磨きをかけていきます。みなさま応援よろしくお願いいたします。」



麗峰祭のときに担任の渡辺美和先生と。

## 編集委員より

おかげまでさくら会 会報も第5号の発行となりました。高校では在校生の活躍がめざましいです。各種検定の合格、各種コンクールの入賞、部活動では関東大会、全国大会に進み成果をあげています。これもひとえに卒業生皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。平成27年の同窓会総会は麗峰祭一般公開日の10月3日土曜日を予定しております。皆様お説明合わせのうえ、ぜひともご来校ください。

植草学園さくら会会報編集委員 竹村美紀・石澤紗央里・木村昌代

# 植草幼稚教育専門学校

## 会長挨拶

植草幼稚教育専門学校同窓会 会長 石川 明子



副会長小笠原さん・小向さんと一緒に

卒業生の皆様 お元気でお過ごしでしょうか。卒業生の皆様には幼稚教育専門学校同窓会にご理解、ご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。日頃から同窓会のことを気遣い心配をしてくださっている範子校長先生、黒田先生に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

11月15日植草学園大学、短大の「緑栄祭」の場をお借りして、第41回同窓会を開催することができました。50名近くの卒業生の方々が出席してくださいり短い時間でしたが、お世話になった先生方とお会いすることができ学生の頃を思い出しても懐かしくまた、心はずむ和やかな時間を過ごすことができました。今回第31期の卒業生の方々が多数ご出席してくださいり、同窓会終了後「第31期同期会」を行ってくださいました。「声をかけること」や「話すこと」は縁を繋げる

だと思います。ご縁の糸は普段はその存在に気づかないほど細い糸であっても本当に大切な糸であれば必ず切れずに繋がっているものと思います。ご縁で繋がっている一つひとつの出会いが同窓会の活力へと繋がっていきます。これからも是非、各期の同期会を開いていただきたいと存続のため変動の時期に入りましたが、範子先生のお気持ちを心に秘めて皆様のお力を借りながら役員一同頑張っていきます。これからもご協力よろしくお願ひいたします。

体調を崩され欠席のご連絡をいたしました範子校長先生がご出席ください、みなさんとも喜ばれました。懇親会の中で範子先生から預かっていたお手紙を代読させていただきました。お手紙の中に「すべての任務が終わっても心に残るのは幼専の皆様への思いです」と書かれていました。そのお言葉に範子先生の優しさと愛情を深く感じました。幼専を選び範子先生にお会いして、先生の下で2年間学生生活を送ることができましたことを幸せに思っております。

同窓会は存続のため変動の時期に入りましたが、範子先生のお気持ちを心に秘めて皆様のお力を借りながら役員一同頑張っていきます。これからもご協力よろしくお願ひいたします。

最後に皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

## 今思うこと



卒業生の皆さんとはいポーズ!

黒田 静江先生

同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私は、長年植草幼稚教育専門学校でお世話になり、現在は植草学園短期大学で、保育内容(表現)・保育の表現技術(音楽表現)・ゼミ・キャリアガイダンスなどの授業を担当しております。在籍中の卒業生のお子様との学校生活や、講演会・公開講座・子育て支援センター等に来てくださる卒業生の方にお会いできることは、大変嬉しいことです。また、公開講座では、保育現場で研鑽を積んでおられる第6期生花島慶子先生(「乳幼児の発達を促すリズム運動」)と、第9期生津村一美先生(「子どもの笑顔がこぼれる魔法の表現あそび」)にもご協力いただいております。そして保育現場や施設での実習や就職では、短大生が、卒業生の方に大変お世話になっております。また過日、実習巡回にいらした大学の先生からは、「学生が、実習先で幼専の卒業生の方に大変お世話になりました」と、丁寧なご報告をいただきました。このような時、幼専

と短大や大学が繋がっていることを感じます。皆様にとりましても、小倉キャンパスは「母港」です。図書館やキャリア支援室をご利用いただけますし、学生食堂を使って同期会を開くこともできます。そして、自己の研修のために特別講演会や公開講座にも、是非ご参加ください。幼専では、佐古先生と範子先生が、学生の主体性を育てるために創りあげた学友会を中心にして、学校生活のあらゆる場面でグループワークが行われてきました。皆様もそのことを思い起こし、いろいろな方との関わりを大切にして、ご自分に与えられた場所で花を咲かせてください。

最後に、同窓会役員の方々が頑張ってこの会を支えてくださっておりますが、是非皆様も同窓会活動に関心をお寄せいただき、一緒に支えていただきたいと願っております。

## 26年度第41回同窓会

平成26年11月15日(土)『第41回 同窓会(総会・懇親会)が行われました』

総会では、平成25年度の活動報告と決算報告が行われ、今年度の活動案・予算案について審議されました。また、ご出席者の方々に審議していただき「さくら会会報5号」からは個人発送ではなく植草学園のホームページに記載された「さくら会会報」をご覧になっていたことになりました。

今年は懇親会の時間を例年より長めにしたことで、お世話になった先生方を囲んでの歓談がより盛り上がったり、ジャンケン大会を取り入れて夢中に楽しんだりと終始皆さんの笑顔が溢っていました。また、同窓会の後には大学の一室を使って31期の皆さんが同期会を開催しました。それぞれの方が頑張っておられる様子をじっくりと聞きあうことができ、充実した時間を過ごせたそうです。

皆さんも懐かしい先生方や同窓生にぜひ会いにいらしてください。ご参加をお待ちしております。



範子先生を囲んで賑やかに  
記念写真



31期同期会の様子。  
皆さんいい笑顔です！



幼専の温かな雰囲気は今も健在です！！

## 同窓生の窓 <特別復活版>

平成25年12月に植草一世先生が穴川花園幼稚園に訪問し、幼専の卒業生の皆さんにお会いしました。子どもたちの前で指人形劇をするなど、現在も元気にご活躍されています！



### おもいで 運動会編



赤ジャージの頃! 編引き



H12年度 心をひとつに長縄!



範子先生も参加! 借り人競争



H15年度 伝統競技むかで競争!

### 寄付の お願い

幼専同窓会は、卒業時に納入していただいた終身会費を元に運営してきましたが、卒業生がいなくなつた今、収入源がなくなり貯金を切り崩して活動を行っております。また、平成22年度から幼専単独の活動だけでなく、植草学園さくら会(連合同窓会)の運営費も必要となりました。これからの同窓会存続・発展のために、幼専同窓生の皆さんに寄付金のご協力をお願いいたします。なお、ご寄付いただいた方のご芳名は次号の会報に掲載いたします。なお芳名の記載を希望されない方は、その旨を振り込み用紙の通信欄にお書きください。

植草幼稚教育専門学校同窓会へご寄付いただける方は  
郵便局の振り込み用紙に下記の項目をお書きください。

- 口：1,000円（何口でも結構です）  
郵便振替口座にてお振込みください。  
口座記入番号：00270-9-140638
- 加 入 者 名：植草幼稚教育専門学校同窓会
- ご 依 頼 人：会員の方の住所、○期、○組、氏名、  
電話番号をご記入ください。
- 通 信 欄：寄付金の口数を明記(例：寄付金3口)してください。



さくら会会報も今回で5号となりました。皆様に少しでも母校のことを思い出してもらえたという思いで編集委員一丸となつて作成しました。

毎年11月に行われている同窓会にももっとたくさんの方にご参加して頂けたら幸いです。お友達を誘って懐かしい先生方に会いに来ませんか？今後も幼専同窓会が存続出来るようにご協力よろしくお願い致します。

☆会報5号からは発送ではなくホームページに掲載させていただきます。皆様のご意見も伺いたいと思いますのでお寄せください。

植草学園さくら会会報編集委員長 石川明子 編集委員 小林亜紀子、鈴木香菜、山下麻子

# 植草文化服装専門学校、 植草家政高等専修学校同窓生より

## 植草文化服装専門学校 昭和46年度卒業 吉野節子

私は、植草学園で服飾デザイン科の教員として平成7年3月まで勤務していました。現在は、瀧澤学園で服飾デザイン科の教員として勤務しています。

前理事長植草あう先生は、人生に前向きでいつもエネルギー溌々で、私にとって掛け替えのない存在です。

植草学園での23年間の勤務中、学生、職員によくおしゃっていた、「人生は、判断の連続だ」・「思い立つたら吉日」の言葉が今でも私の心にあります。

また、教員になったばかりの私達に、常に挑戦する機会を与えて下さり、時代の変化を楽しめる人材教育をして下さいました。

お陰で勤務したその年に、美術クラブを恩師の小安先生と立ち上げ千葉のショッピングセンターギャラリーにて、イラスト展を9年続けることができました。併修科担任の時は、クラスから「バレーボール部を作りたい」と言う生徒達の気持ちを植草あう先生に伝えると、「同好会から始めなさい」とポケットマネーでボールを買って下さり、翌年には部に昇格。その後、バレーボール大会を学校行事にまでして下さったのです。

しかも、昭和49年の第一回校内バレーボール大会で教え子

## 植草家政高等専修学校 昭和38年度卒業 坪井イシ子

家政卒業後、編み物科に進み修了後は、デパートに就職して仕立て部で4年間勤務しました。後に結婚をして新居先近くの布専門店に立ち寄ったことがきっかけとなり、洋裁を指導する道に進むことになりました。

当時は洋裁を習いたいというお客さんが多く、20名位を2回に分けて教えました。原型の取り方から作品になるまで、4年間あまり教えていましたが、バブルがはじけて布専門店は閉じました。その後、転居先の庭先に小さな洋裁教室を建て、教えること現在に至っております。

生徒さんは、8~9名で50代、70代の定年された方や専業主婦の方です。皆さん本当に洋裁が好きで、最長は17年の方が2名います。作品は自由に作製します。私たちの年代になりますと洋服を捨てることができず、沢山持っているので、それを利用して作品にしております。もちろん新しい布から

達が優勝を…(ちなみに、その日は6月8日で、あう先生と私の誕生日だったのです。)感無量。

さらに、平成24年の瀧澤学園第一回校内フットサル大会が、不思議にも6月8日でした。その時、クラスの学生達に植草学園の優勝話をしたら誕生日のプレゼントにとクラスが団結して優勝を…【ちなみに昨年も優勝でした。】

もちろん、服飾デザイン科の大イベントのファッションショーは、植草学園同様、瀧澤学園でも20年続けています。それも植草学園で貴重な経験をさせて頂いたお陰です。

この様に、パワフルな植草あう先生の教育に対する情熱的な教えが、私の教員生活43年目の今も原動力になっています。



服飾デザイン科ファッションショー  
中央 吉野節子さん



校内フットサル大会優勝  
前列中央

作る人もいますが、リフォームされた作品の喜びが一番大きいです。旅行、食事会等のつどいに会話をしながら楽しくやっています。

私も50年間洋裁を続けてきて、作品ができ上がった時の喜びの顔をみると、やってきてよかったですと思っている毎日です。これからも何年続けることができますか…。好きな仕事なので皆さんと一緒に楽しんで行きます。



中央 坪井イシ子さん



洋裁教室

## 平成26年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 植草完 浦野俊則 中坪晃一 植草範子
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 石川明子 信田一美 金久保利一 西川嘉人
- 監事 岡田泰子 小林亜紀子
- 理事 齊藤京子 早川佐知子 松本珠代 鈴木朱美 小笠原晴代  
木村昌代 岡田眞貴子 竹村美紀 宮内美佳 池上清美  
木下裕美子 小泉仁美 石井涼平
- 合同企画委員長 小菅秀美 小向絵美
- 会報編集委員長 石川明子
- ホームページ委員長 金久保利一 ● 代議員 各校より計20名
- 大・短同窓会協力委員会 黒田静江 口井ひとみ 植草一世 多田昌代 佐藤将朗 田上未来
- 高校協力員 根本薰雄 ● 学園事務局長 手塚千俊 ● 事務局 キャリア支援課



### 植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

**URL <http://www.uekusa.ac.jp/>**